

環境活動レポート

2024年度

(対象期間 2023年8月 ~ 2024年7月)

発行日 2024/10/18



株式会社 日幸製作所

文書番号：E-B.8.1-初版

目次

1.表紙	
2. 目次	
3. 環境方針	1, 2 頁
4.組織の概要・実施体制	3, 4 頁
5. 環境目標の設定	5 頁
6. 環境目標の実績	6 頁
7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	7 頁
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、 訴訟等の有無	8 頁
9. 代表者による全体評価と見直し・指示	8 頁

3. 環境方針

株式会社日幸製作所は機械部品加工業務を遂行するうえで「技術」と「自然」の共存を理念とし全社員が環境を考慮した事業活動に取り組むことにより、環境負荷の継続的改善を遂行し、さらに環境関連法規の遵守を行い企業の社会的責任を果すためにSDGSの推進活動を行います。

【環境行動指針】

1. 二酸化炭素排出量削減

- ① 機械設備、照明設備、空調設備等の効率的な運用により、使用エネルギーの削減に取り組めます。
- ② 太陽光発電システムを運用し購入電力の削減に努めます。
- ③ エコドライブによって排ガスの抑制に努めます。

2. 廃棄物排出量削減

- ① 排出される廃棄物の分別の徹底とリサイクルを促進し、排出量削減に努めます。
- ② 不良品の発生を削減することで廃棄物を削減します。
- ③ 中間処理廃棄物はリサイクルを行うことができる業者に委託します。

3. 総排水量削減

- ① 社員に節水を呼び掛け水量削減に努めます。

4. 化学物質使用量削減

- ① 化学物質の適正管理と削減に努めます。

5. グリーン購入の推進

- ① エコマーク製品や循環製品等の環境配慮の製品・サービスの購入を継続します。

6. 環境配慮製品・サービスの提供

- ① 顧客に対して設計改善提案を積極的に行い環境保全につながる活動をします。
- ② エコマーク製品や循環製品等の環境配慮の製品・サービスの購入に努めます。
- ③ 省資源・エネルギーの生産技術確立、歩留まり向上及び平準化生産の促進等の環境配慮の生産に努めます。

7. 環境教育との充実

- ① 環境意識の向上を図るため、従業員を対象に定期的な環境教育を行います。
- ② 工場周辺の美化活動や環境維持活動を実施します。

8. SDGSの推進取組

- ① 従業員を対象に広報していく。
- ② 17の目標から、社内で取り組める目標を設定し進めていく。

 <p>1 貧困をなくそう</p>	<p>1. 貧困をなくそう あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ</p>	 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>4. 質の高い教育をみんなに すべての人に包摂的(※)かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する</p>	 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する</p>	 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>10. 人や国の不平等をなくそう 国内および国家間の格差を是正する</p>
 <p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>2. 飢餓をゼロに 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する</p>	 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>5. ジェンダー平等を実現しよう ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る</p>	 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>8. 働きがいも経済成長も すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する</p>	 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>11. 住み続けられるまちづくりを 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする</p>
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>3. すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する</p>	 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>6. 安全な水とトイレを世界中に すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する</p>	 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靭なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る</p>	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>12. つくる責任 つかう責任 持続可能な消費と生産のパターンを確保する</p>
 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>13. 気候変動に具体的な対策を 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る</p>	 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>16. 平和と公正をすべての人に 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する</p>	 <p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>14. 海の豊かさを守ろう 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する</p>	 <p>17 パートナースhipで目標を達成しよう</p>	<p>17. パートナースhipで目標を達成しよう 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナースhipを活性化させる</p>
 <p>15 陸の豊かさを守ろう</p>	<p>15. 陸の豊かさを守ろう 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る</p>						



この環境方針を全社員に周知し、一般にも公開します。

改訂日 2022/8/10

株式会社 日幸製作所
代表取締役 小林 正人

4.組織の概要・実施体制

1. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

株式会社 日幸製作所 代表取締役 小林 正人

2) 所在地

本社・工場：静岡県沼津市大岡4044番地25号

3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 代表取締役 小林 正人

担当者 営業グループ 佐藤 敏之

連絡先 電話 055-929-1811 FAX 055-929-1812

電子メール info@nikko-ss.com

ホームページ <http://www.nikko-ss.com/index.html>

4) 事業の内容

金属及び樹脂等加工品の製造並びに組立

- ・各種産業装置用の金属製及び樹脂製機械部品の加工
- ・各種産業装置用の機械部品組立

5) 事業の規模

(決算期：8月 ～ 翌年7月)

事業規模	単位	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	百万円	1,179	1,312	1,868
従業員数	人	89	87	88
床面積	m ²	5961	5961	5961

2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日



1) 対象範囲：本社工場の全組織及び活動

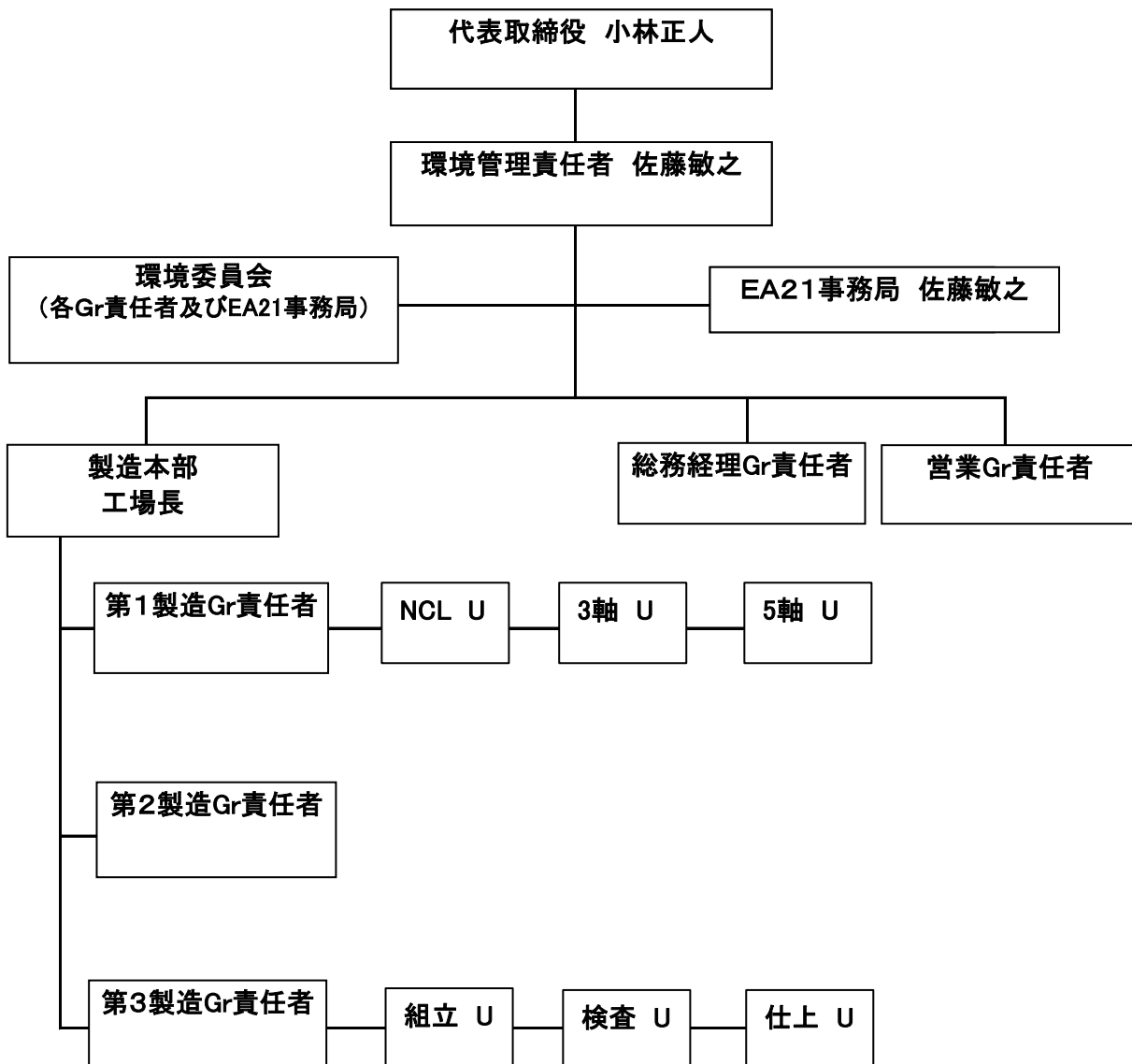
2) レポートの対象期間及び発行日：表紙に記載

環境管理実施体制表

改訂：2版

作成 2019/12/27

承認	作成
	



5.環境目標の設定

承認	作成
2023/10/22 小林正人	2023/10/20 佐藤敏之

2024年度

No	環境方針項目	単位	基準値	年度目標					
				2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
1	二酸化炭素排出量の削減	CO2排出係数 (0.452)	kg-CO ₂	668,860	基準値に対し 2 %削減 655,483	基準値に対し 4 %削減 642,106	基準値に対し 6 %削減 628,729		
		電力	kWh	1,440,853	基準値に対し 2 %削減 1,412,036	基準値に対し 4 %削減 1,383,219	基準値に対し 6 %削減 1,354,402		
		ガソリン	L	5,830	基準値に対し 2 %削減 5,713	基準値に対し 4 %削減 5,597	基準値に対し 6 %削減 5,480		
		軽油	L	251	基準値に対し 2 %削減 246	基準値に対し 4 %削減 241	基準値に対し 6 %削減 236		
		灯油	L	1,200	基準値に対し 2 %削減 1,176	基準値に対し 4 %削減 1,152	基準値に対し 6 %削減 1,128		
		LPG	kg	144	基準値に対し 2 %削減 141	基準値に対し 4 %削減 138	基準値に対し 6 %削減 135		
	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	kg	8,334	基準値に対し 2 %削減 8,167	基準値に対し 4 %削減 8,001	基準値に対し 6 %削減 7,834		
		産業廃棄物	kg	79,621	基準値に対し 2 %削減 78,029	基準値に対し 4 %削減 76,436	基準値に対し 6 %削減 74,844		
3	水使用量の削減	m ³	931	基準値に対し 1 %削減 922	基準値に対し 2 %削減 912	基準値に対し 3 %削減 903			
4	化学物質使用量の管理	—	—	PRTR法該当化学物質の管理					
5	グリーン購入の推進	—	—	購入の推進	購入の推進	購入の推進			
6	環境配慮製品・サービスの提供	—	—	資材のリサイクル活用	資材のリサイクル活用	資材のリサイクル活用			
7	環境教育の促進	社内教育実施回数	2 件/年	2 件/年以上	2 件/年以上	2 件/年以上			

※1. 本環境目標設定表は、毎年度見直すものとする。

※2. 太陽光発電の売電分は対象外とした。

6 環境目標の実績(2024)

No	環境方針項目		基準値	年度目標	年度実績	
			2023年度 '22/8~'23/7実績	2024年度目標	2024年度実績	達成度
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力使用量 1,440,853 kWh/年	基準値に対し 2 %削減 1,412,036 kWh/年以下	1,312,593 kwh/年	-7% ○
			油種別消費量	基準値に対し 2 %削減		
			ガソリン <L/年> 5,830	5,713 L/年以下	5,227 L/年	-9% ○
			軽油 <L/年> 251	246 L/年以下	745 L/年	67% ×
			灯油 <L/年> 1,200	1,176 L/年以下	600 L/年	-96% ○
			LPG <kg/年> 144	144 kg/年以下	126 L/年	-14% ○
			計(kg-CO ₂) 668,860 kg-CO ₂ /年	655,483 kg-CO ₂ /年以下	609,216 kg-CO ₂ /年	-8% ○
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	廃棄処分量 8,334 kg/年	基準値に対し 2 %削減 8,167 kg/年以下	7,713 kg/年	-6% ○
		産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物排出量 79,621 kg/年	基準値に対し 2 %削減 78,029 kg/年以下	69,020 kg/年	-13% ○
3	水使用量の削減 <水道使用量:m ³ >	水道使用量 931 m ³ /年	基準値に対し 1 %削減 921.7 m ³ /年	921 m ³ /年	-0.1% ○	
4	化学物質使用量の抑制および管理 <化学物質使用量:kg>	—	使用量の管理と 管理方法の徹底	メタルクリーナ 960kg ファインソルブ 32kg	○	
5	グリーン購入の推進 <エコ商品購入>	—	—	エコ商品の購入	○	
6	環境配慮製品・サービスの提供	—	—	納品資材等の再利用	○	
7	環境教育の促進	—	2回の実施	2回の実施	○	

※CO2排出係数(0.452)での計算による。(東京電力2021年度排出係数を使用)

※本環境目標設定表は、毎年度見直すものとする。

※未達成の項目

軽油	原因	トラックでの納品(大物・まとめ)が増えたため前年度より増えた。
	対策	ガソリンは減っているので納品の対応方法でTOTALで対応していく。

次年度の目標 : 変更なし

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎:達成実施済み ○:達成領域だがステップアップ可能 △:一部のみでは是正が必要 ×:未達成/未実施

環境目標	取り組み項目	取 組		
		結果	評価	次年度への内容
1. CO2削減 1) 電力消費量削減	休憩時退室時の消灯	◎	徹底してできている。	継続していく。
	廊下・階段の使用外の消灯	◎		
	PC省エネモード設定	◎	省エネモードの対応はできている。	継続していく。
	LEDへの切り替え	◎	全ての切り替え完了	完了
2) 化石燃料消費量の削減	エアコンの設定温度の適正化	◎	買い替えにより省エネ対応の物に変更した。	継続していく。
	共通:省エネ運転の実行	○	エアコンの設定温度の掲示済	特になし
	灯油:ストーブの使用時間削減	◎	使用台数も減少した。	継続していく。
	LPG:給湯器の季節運用	◎	給湯器電源OFF実施	特になし
2. 廃棄物排出量の削減	ガソリン:長時間アイドリングの停止	◎	アイドリング時のエンジン停止のステッカーを貼る。	リース車3台変更予定。
	廃棄物の分別の徹底	◎	表示と別々のポスト設置済み	特になし
	リサイクルの推進	◎	実施できている。	ウエスの再利用を実施。(業者を変更)
	使い捨て製品の使用抑制	◎	梱包方法の検討。	出荷専用担当を設置し実施。
	裏紙の使用推進	◎	トレーを設け実施済み	継続していく。
3. 水道使用量の削減	不良品、段取り品の削減	○	職場改善で検討	継続していく。
	日常の節水の励行	○	励行済み	特になし
4. 化学物質使用量の削減	溶剤の揮発防止を図る	○	一部対応	個別で分別対応
	使用量、保管量、使用方法を管理する SDSの管理	○	表示の実施 (MSDSの表示)	継続していく。
5. グリーン購入の促進	グリーン購入の励行	◎	プリンタトナー、トイレトペーパー等変更	継続していく。
6. 環境配慮製品・サービスの提供	顧客への設計改善の提案励行	◎	パーツトレイの再利用を顧客に依頼し納品後、戻してもらい再活用している。	出荷専用担当を設置し実施。
7. 環境教育の推進	社内説明会	○	全社員対象の説明会実施、訓練の実施。	同様に実施。
	環境委員会定例会開催	◎	定例会の実施	同様に実施。
	工場周辺の清掃活動	◎	会社周りの掃除	ゴミ清掃活動を計画
8. SDGSの推進	社内説明会	○	目標設定	活動の結び付け。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に係る主な環境関連法規等は下記の通りで、遵守状況を2024年9月に確認した結果、違反はありませんでした。また、関連機関からの指摘、環境関連の訴訟もありませんでした。

区分	法規制名	当社該当内容	遵守内容
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 廃棄物処理法 廃掃法	産業廃棄物の適正処理義務 再生資源による廃棄物排出量削減 産業廃棄物保管場所の囲い マニフェスト交付状況の報告 保管場所表示板の設置	○
	静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	現地確認	○
	循環型社会形成推進基本法 及び個別のリサイクル法	一般廃棄物の分別収集、排出 非鉄金属資源の再資源化推進 他	○
省エネ	エネルギーの使用の合理化に関する法律	製造業務での省エネ推進 間接業務での省エネ推進	○
	フロンガス排出抑制法	エアコン等フロン漏えい点検	
騒音規制	静岡県生活環境の保全等に関する条例施行規則	金属加工機械施設の騒音規制基準	○
購買	国等による環境物品等の調達 の推進等に関する法律	環境にやさしい原材料の利用 エコ商品選択購入	○

8. 代表者による全体評価と見直し・指示

代表取締役 小林正人

- 1) 見直し実施日：2024年10月11日
- 2) 提出資料：環境目標達成状況、環境活動計画の実施及び運用結果、環境関連法規等の遵守状況、外部からの環境に関する苦情や要望
- 3) 代表者の評価：
 - ・ 今後売上が厳しくなりそうなので経費の削減の実施を徹底して対応していく。
 - ・ 製造のエアコンの買い替えを行ったので電力使用量の減少を期待する。
 - ・ 原材料費等の値上がりにより引き続き対応していく。

4) 見直し結果：

環境方針	無し	継続して行う
環境目標	無し	継続し売上状況との確認をしていく
環境活動計画	無し	継続し職場改善と連携していく
実施体制	無し	継続して行う
環境経営システム等	無し	継続して行う